

事務事業名		佐野市人権教育推進協議会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	総務係	担当課長名	吉田 重弥	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 人権意識の高揚					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	12406	一般	10	1	2	佐野市人権教育推進協議会支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H14年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野市人権教育推進協議会に交付金を交付し、支援を行なうとともに協議会の事務局として各種事業実施の連絡調整を行う。 佐野市人権教育推進協議会とは、佐野市における人権教育の推進を図ることにより、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決に寄与することを目的として、小中学校長代表、社会教育関係機関代表、学識経験者、行政機関職員の代表の20人以内で構成する団体である。			(市の活動) 協議会主催の各種事業の実施の支援を行なった。 (協議会の活動) 総会を開催し当該年度の人権教育の目標・方針等を決定した。また、市職員等を対象に人権問題研修会を実施した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			人権問題研修会参加者数	人	88	65	90	90	90	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市職員等			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			人権問題研修会参加対象部署数	箇所	60	63	63	63	63	
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
人権教育を推進する資質を高める。			人権問題研修会参加者数/人権問題参加対象部署数	%	146.7	103.2	142.9	142.9	142.9	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
日常生活において、人権を意識している。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			人権講演会参加者で「日頃、人権を意識しながら生活している」と回答した人の割合	%	90.4	93.6	92.0	93.0	93.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	140	140	110	110	110			
		事業費計(A)	千円	140	140	110	110	110			
		事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				19.負担金	140	19.負担金	140	19.負担金	110	19.負担金	110
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2			
		のべ業務時間	時間	150	150	150	150	150			
		人件費計(B)	千円	584	591	591	591	591			
		トータルコスト(A)+(B)	千円	724	731	701	701	701			

事務事業名	佐野市人権教育推進協議会支援事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	総務係
-------	------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	本協議会は、平成14年4月1日から佐野市同和教育推進協議会を発展的に再構築し、同和教育をはじめとする人権教育の推進を図るため発足した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	本市は、昭和52年12月に制定された同和教育基本方針に基づき同和教育の推進を図ってきたが、その後、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」等の制定に伴い、同和教育推進の過程で得た成果を踏まえて、同和教育を包括する人権教育へと進展してきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	学校教育や社会教育の分野において、人権教育の推進を進めることは、すべての教育活動の基本に位置しているから。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	教育委員会が委員を委嘱しており、人権教育の年間活動方針や目標を決定し、これに沿って各種事業を展開している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	教育委員会所管に係る人権教育に寄与する目的からして、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない		理由・改善案	人権教育は、性格上、一朝一夕に効果が期待できるものではなく、継続した展開が必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	佐野市教育委員会所管における人権教育の基本的な方針等を決定する唯一の協議会であり削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である		理由・改善案	教育委員会所管の人権教育に係るための支援事業であり、受益者負担金にはなじまない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
あらゆる差別がなくなり、誰もが相手の気持ちを思いやれるような慈愛に満ちた社会が実現されれば、本事業の必要性はない。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			